

追加機能一覧

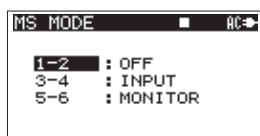
ファームウェアV1.20より、次の機能が追加されました。

1. MSマイク接続モード機能の追加
2. GANG機能の追加

MSマイク接続モードについて

MSデコードモードを設定する

“SYSTEM”メニュー画面の“MS MODE”項目を選択（反転表示）し、“MS MODE”画面を表示します。



MSマイク接続時のデコードモードを設定します。

1-2、3-4、5-6の各ペアチャンネルのそれぞれ個別に設定が可能です。

OFF（初期値）：

通常モードでの録音・再生を行います。

INPUT：

デコードしながら録音する時に使用するモードです。

再生は、通常の再生を行います。

MONITOR：

後からデコードする目的で、MSマイクの出力をデコードせずに録音する時、録音時にモニターする場合に使用するモードです。

すでにデコードせずに録音したテイクをデコードして再生する場合にも使用します。その場合は、“I/O”メニュー画面の設定で“A.OUT SEL”項目を“MIX”に設定する必要があります。

メモ

録音中あるいは再生中に“MS MODE”画面の設定を変えることはできません。かならず停止状態（トランスポートアイコンが“□”の表示）にしてから設定を変更してください。

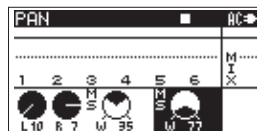
MSマイクを接続する

本機のMSデコード機能を使う場合は、Mid側を奇数のチャンネルに、Side側を偶数のチャンネルに、それぞれ接続します。MidとSideを逆に接続すると、正しくデコードすることができません。

（例）Midを3チャンネル、Sideを4チャンネルに接続する。

MSデコードして録音する

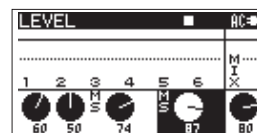
1. “MS MODE”画面にて、デコードモードを“INPUT”に設定しておきます。
2. フロントパネルのMIX PANキーを押して、“PAN”画面（パンポット設定画面）を表示し、音の広がり度合いを調整する“WIDE”の設定を行います。



フロントパネルの1～6キーの内、“MS MODE”画面にて“INPUT”に設定してあるチャンネルのいずれかのキー（3-4チャンネルに設定してあれば3キーまたは4キー）を押して、調整したいチャンネルを選択（反転表示）します。VALUEダイヤルで適切な広がり度合いになるように調節します。

調節範囲は0～100です。“0”でMidが100%となり、数字が大きいほどSideの割合が大きくなります。“100”でSideが100%です。（初期値：“0”）

3. フロントパネルのMIX LEVELキーを押して、“LEVEL”画面（レベル設定画面）を表示し、デコーダーの出力の調節を行います。



フロントパネルの1～6キーの内、“MS MODE”画面にて“INPUT”に設定してあるチャンネルのいずれかのキー（3-4チャンネルに設定してあれば3キーまたは4キー）を押して、調整したいチャンネルを選択（反転表示）します。VALUEダイヤルで適切なレベルに調節します。

調節範囲は0～100で、数字が小さいほど出力が絞られます。（初期値：“100”）

メモ

デコードせずに録音（録音トラックにMidとSideをそのまま記録）しておいたテイクを再生時にデコードすることも可能です。

再生時にデコードする場合は、ステレオミックスでの出力になります。

デコードせずに録音する場合は、デコードモードの設定を“OFF”または“MONITOR”にしておきます。

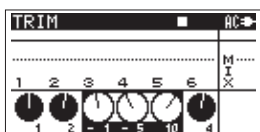
“MONITOR”にしておくと、録音中にデコード後の音をモニターすることができます。

GANG機能について

“TRIM”画面、“PAN”画面、“LEVEL”画面の各画面で連続する複数のチャンネルを同時に連動させて操作すること（GANG動作）が可能になりました。

GANG動作させるチャンネル範囲の両端のチャンネル番号キーを同時に押すことでチャンネル範囲を指定します。

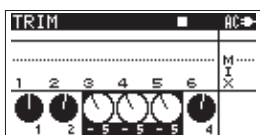
例えば、チャンネル“3”～“5”でGANG動作させたい場合は、3と5のキーを同時に押すと、図のようにチャンネル“3”～“5”の部分が反転表示になり同時にレベルを調整することができるようになります。



GANG動作モードは複数の組み合わせが設定可能です。ただし、1つのチャンネルを複数のGANG動作モードに含むような設定はできません。

選択（反転表示）したGANG動作モードに含まれるどれか1つのチャンネルが上限値または下限値に到達した場合、そのままVALUEダイヤルを回し続けても全てのチャンネルの値の増加または減少をしなくなります。（チャンネル間の調節値の差が保持されます。）

複数のチャンネルを選択した状態でVALUEダイヤルを長押しすると、選択（反転表示）したGANG動作モードに含まれる全てのチャンネルの設定値を、その中でもっとも小さい値に合わせることができます。



GANG動作モードは、次のいずれかの操作を行うと解除されます。

- GANG動作モードに設定されているチャンネル選択と同じキーを同時に押す。
- 電源をスタンバイにする。
- MSデコードモードの変更をする。
- イニシャライズを行う。

GANG動作モードは、“TRIM”画面、“PAN”画面、“LEVEL”画面で共通に設定されます。

ただし、“PAN”画面および“LEVEL”画面では、MSデコードモードに設定したチャンネルをGANG動作モードに設定および解除をすることはできません。

メモ

MSデコードモードに設定したチャンネルとMSデコードモードに非設定のチャンネルを1つのGANG動作モードに設定することはできません。それぞれで別々のGANG動作モードを設定してください。

複数のMSデコードモードに設定したチャンネルをまたいでGANG動作モードに設定することはできません。

MSデコードモードに設定したチャンネルを含む範囲を指定した場合、MSデコードモードに設定したチャンネルの組み合わせの内でもっとも小さいチャンネル番号を持つMSデコードモードのチャンネルがGANG動作モードに設定されます。

指定した範囲にMSデコードモードの片方のチャンネルだけが含まれる場合は、GANG動作モードは設定されません。